



うつのみや文化の森

- ・実施設計 平成7年度
- ・保全・管理検討業務 平成8年度
- ・面積: 26ha(全体115ha)
- ・事業主: 宇都宮市

— 自然環境との調和を目指した森をつくる —

うつのみや文化の森の事業は、平成元年に北部リゾート構想として芸術、歴史、科学をテーマに計画された。敷地は宇都宮市北部の丘陵地に位置し115haの総合公園として位置づけられている。今回の計画はこのうち26haの芸術ゾーン（美術館を含む）を対象とする宇都宮市制100周年記念事業である。

計画地面積の半分は良好な雑木は林が占め隣接して水田地帯や山林、小河川の流れる市内でも数少ない里山の自然環境を持つ地域である。この恵まれた自然環境と整備をいかに共存させるかが業務の大きな課題であった。計画にあたっては自然環境に配慮した保全計画、施設配置計画、ミティゲーションによる施設づくりを行った。また監理では生態系に影響の少ない工事方法や進め方を施工者や自然保護団体と協議し実施した。



・上空からの俯瞰



・カワセミの営巣地

修景池の斜面の一部を崖状に造成しカワセミの営巣地をつくる。



・けものみち

獣道（タヌキ、ノウサギ、キツネ、イタチ）を兼ねて整備した横断排水路。



・コウモリの止まり木

コウモリの営巣を目的とした止まり木を放水路内に埋め込む。



・そだ柵

林内整備時に発生したアズマネザサや間伐材を利用して、自然観察路沿いの柵を作った。



・草の壁

駐車場の落差を草の壁で処理し景観や生き物に配慮する。（小動物のすみか）



・緑の駐車場

大面積の駐車場には、既存木を移植したり、駐車スペースに緑を取り入れ自然との調和を図る。



・林の移動

大径木を移植重機により移植し、雑木林の生態系を再生する。



・野鳥観察会

春と秋には野鳥観察会が行われている。（アカゲラ、カワセミ、サシバ、ジョウビタキ、オオコノハズク等が確認されている）



・ミズニラの保全

湧水地の流路を整備しミズニラを移植、保全する。



・サワガニの水路

放水路内に玉石を敷設し、サワガニの遡上できる水路をつくる。



・森の池と水辺の四阿